

第25回 調布市南部地域街づくり検討会報告

日時 2009年9月29日(月)午後7時～9時
会場 市民プラザあくろす3階 あくろすホール
議題 地域別街づくり方針の最終検討

参加 藤野・真野・井上・村松・秋谷 各理事

11月の中間報告にむけての報告案検討をおこなった。

この日は国領地域の再開発担当者の出席もあり、活発に論議された。

10月に最終決定になるが、現在の最終案は下記の通り。



染地エリア 中間報告最終案

① 染地エリア街づくりテーマ

**南北交流を実現し、文化の香り高く、
多摩川の自然環境の下、住み続けられる街**

② 染地地域が目指す、街づくりの方針(方向)

- 多摩川住宅の建て替えを見据えた検討を行い、将来に渡って多世代が住み続けられる良好な住環境の形成を図ります。
- 多摩川の緑と景観を保全するとともに、一体化に調和して周辺環境の形成に努めます。
- 桜堤通りを観光ネットワークの核とした「映画のまち」の復興を目指します。

● **防災・防犯の向上と 21 世紀に向けた新しい都市集合住宅・環境共生住宅や多世代コミュニティー社会の形成のあり方のモデル地区とします。**

- 多摩川の河川環境・親水環境を活かした環境共生型の住環境の整備を図ります。

③ 染地エリアも将来像と街づくりの方向性

◎主要生活道路沿道

主要市道 21 号線及び市道南 116 号線では、良好な住環境を保全しつつ、日常生活品などを扱う生活利便施設を誘導し、歩行者空間の確保を図りながら、安全・安心な街づくりを図る。



◎中高層住宅

高層の多摩川住宅及び中高層マンションを中心とした染地 3 丁目付近は、良好な都市型住宅と魅力ある商業・業務施設が調和した、緑豊かで秩序ある市街地形成を図る。

◎住環境保全

染地 2 丁目の地区は、現在の良好な住環境を保全しつつ、建築物の用途の混在や密集を防ぎ、住民生活を重視した安全で安心なゆとりある住宅地の形成をめざす。

◎ 農住調和

染地 3 丁目地区については、生産緑地地区が多く存在しており、市の都市農業の核となっていることから、生産性の向上を図るとともに、良好な住環境や景観との調和を図る。

◎ 景観形成軸整備

桜堤通りは、市内においても景観形成上重要な要素であるため、周辺環境と調和を図りながら、良好な土地利用と景観形成を図る。

◎ 公園緑地整備計画

多摩川河川敷内は、調布多摩川緑地として決定されていることから、周辺の住環境に配慮しつつ、うるおいのある環境の整備を促進する。

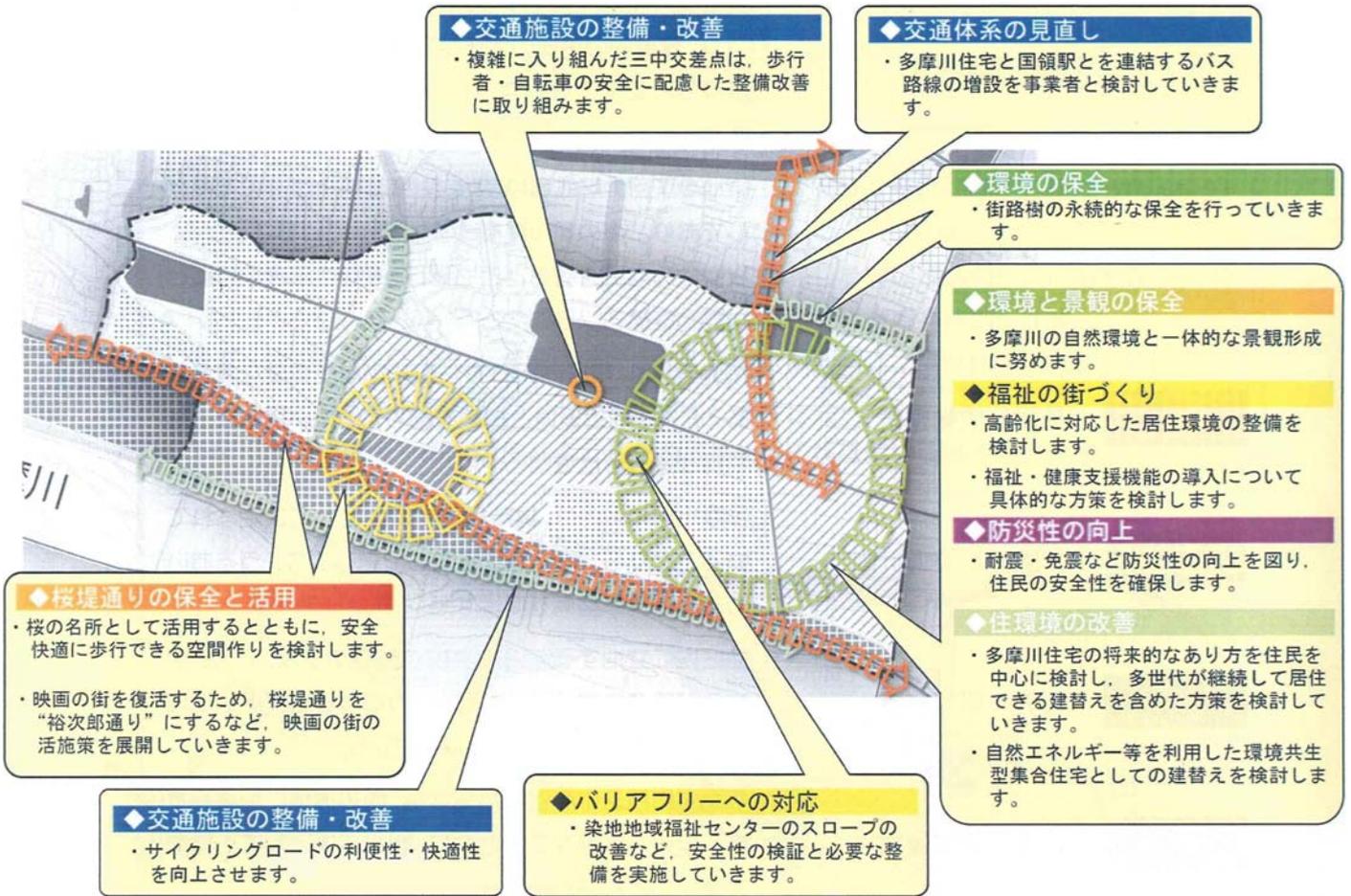
◎ 文教・研究施設

地区内に立地する布田小学校や杉森小学校、染地小学校及び第三中学校は、地域固有の資源として周辺環境と調和した秩序ある土地利用を図る。

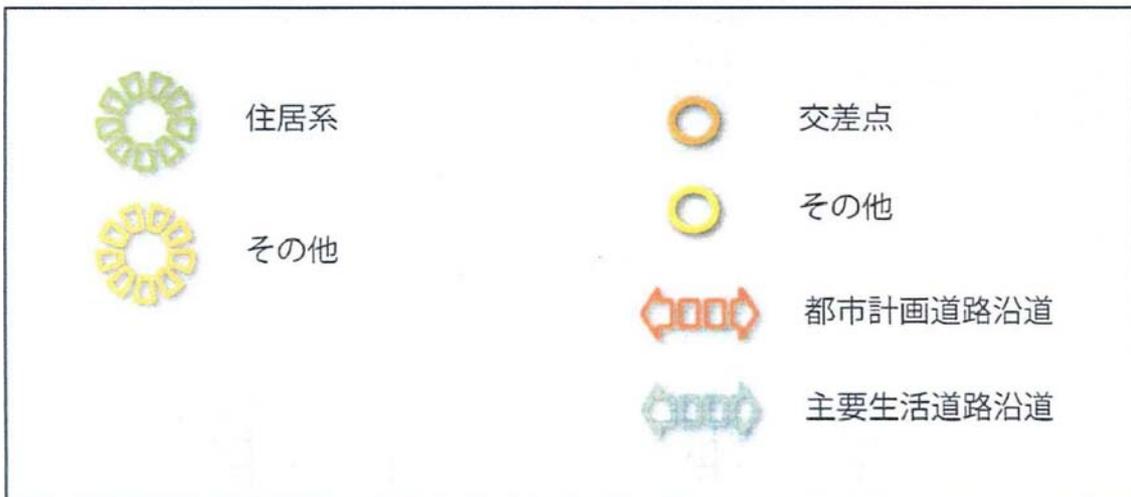
◎ 映画産業関連施設

日活撮影所を中心とした地区は、周辺環境に配慮した施設設備を誘導するとともに、観光資源としての機能を活用した良好な街づくりを図る。

④ 具体的な方策図



凡 例



中間報告会は11月14日(土)午後2時、文化会館たづくり12階会議室で開催する予定。